



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともしよう

- ◆点鐘：小林 恵一 会長
- ◆ロータリーソング：四つのテスト
- ◆司会：遠藤 正明 副 S.A.A.
- ◆会場：千歳館



Yamagata West Rotary

第2843回例会

平成31年4月15日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



先週まで、4月にしては肌寒い日が続き、雪が降るなど桜が開花して以降、足踏み状態でしたが、ようやく咲き始め今日の観桜会に歩調を合わせてくれたようです。今年は開花が早め、その後、花が長持ちする傾向にあるようです。

桜前線を追うなか、天皇の退位に伴い、間もなく幕を閉じる平成最後の月、4月も残すところ半月余りとなりました。

私のような団塊世代にとって、2019年は平成31年ではなく、「昭和94年」だと、内心そのように思ってきた側面があります。かつて、1967(昭和42)年当時、「明治100年」がブームになったことがあります。

父や母、祖父母は「明治は遠くなりなけり」が口癖でした。漱石は小説「こころ」の終章で明治天皇と乃木大将を引き合いに「明治の精神」を語っている。

当時の、そんな「明治の懐古主義」が記憶として残っています。

平成が終わろうとしている今、当時のような「平成懐古」に纏わる風潮やブームを、ほとんど感じませんが、それは平和で戦争のない時代だったからなのか、退位に伴う代替わりによるものなのかは分かりません。

しかし、この30年もそれなりに激動の時代だったと思わざるを得ません。人それぞれではありますが、皆さんはどのように思われますか。

先週、宇宙で新たな快挙がありました。巨大ブラックホールの撮影に成功したことです。あらゆる物質や光がブラックホールに吸い込まれて出てこれなくなる境界線、イベントホライズン「事象の地平線」を捉えた。観測した「おとめ座」のM87銀河の中心にある巨大ブラックホールは、地球から5.500万年も離れており、これを捉えることが出来たのは、地球サイズの電波望遠鏡を仮想的に作りだし、スーパーコンピュータやIT技術の進展、1億年に1秒もズレない正確な時計などの技術が統合され、解像度が飛躍的に向上したことによるものです。宇宙に関する新発見が、今後もますます期待出来そうです。

私たちは星のかけらからできている。私たちの体はさまざまな原子でできている。その原子はいつ、どこで生まれたのか。これを実際に見ることに成功したのは、日本の実験で岐阜県の山

中、地下1kmにある巨大水槽「スーパーカミオカンデ」で、原子を組み立てるときに出る副産物のニュートリノを捉え、原子製造の現場を押さえた小柴教授がノーベル賞に輝いた。星は生涯の最後に超新星大爆発を起こし、この時製造された原子がばらまかれて私たちの体になった。私たちの故郷は宇宙。宇宙における私たちの生は一瞬。その宇宙は膨張し続けており、地球も私たちの体も、あらゆる事象すべてが、常に一瞬たりとも同じ形を留めず、未来に向かって絶えず変化し続けている。

そう考えると、今宵の桜が特別なものに感じられます。挨拶と致します。

観桜会





<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (4/15)	96名	65名	修正出席 (3/25)	94名	82名	77名	93.90%
メイクアップされた会員	(山形南) 酒井 啓孝、伊藤 歩、長岡 壽一、安部 弘行、富田 浩志、晋道 純一、武田 良和、橋本 徳光、伊藤 義彦、清野 伸昭、木村 孝、浦口 太門						